

新型コロナ第6波に備えて

- PCR検査 行政検査の充実 **検査キットの無料配布**
まん延時等における薬局などでの無料検査
ワクチン検査パッケージ制度用無料検査
- 医療体制 受入病院 532床 宿泊療養施設 5施設665室
臨時応急処置施設開設(津市・四日市市) 44床
自宅療養者の往診・訪問看護への医療機関への協力金
自宅療養者への食事・衛生用品を支援する市町への補助
- ワクチン 3回目のワクチン接種体制 12月医療関係者 1・2月高齢者

その他、感染防止対策を実施する中小事業所・事業者への補助金、業態転換などを図る事業者への補助、飲食店等の時短協力金、交通事業者への支援、などを補正予算で追加しています。
*詳しくは県HP参照。または、お問い合わせください。

医療・保健関係者のみなさんはじめエッセンシャルワーカーのみなさんのお働きに感謝と敬意を表します。

8月から9月の第5波では、自宅待機・自宅療養者が最大2,309人となり、保健所機能は逼迫、無症状の濃厚接触者検査も十分に行えない状況でした。

政府の検査抑制方針が感染を拡大したことは否めません。

要求していた無料PCR検査はキット配布が実現しました。

2月10日まで申し込みます。

一見知事 「平和への想い」を語る 十二月八日

先の大戦は日本が無謀ともいえる闘いに踏み込んでいった。戦争は国民とりの弱い立場の人々を不幸にする。私たちはこの戦いの悲惨さを決して忘れてはいけない。戦争は政治に携わるものとして絶対に回避しなければならないもの。外交面であらゆる手立てを講じることが重要。知覧の特攻平和館で。そんなことを二度とさせてはいけない。それをさせたのは誰か。戦争に踏み切った政治家であります。戦争を起すか否かは政治の覚悟です。けっして戦争は起こさないと決意をもって政治に当たらないければいけない。戦争がいかに悲惨なものか記録を残していくのも政治の使命である。(中村進一議員への答弁書(起))

「骨のうたう」「特攻兵の手紙」を声を詰まらせて語る知事

きいて・・・きいて・・・

(2021年1月～12月) 議案 認定決議 **197**本のうち

反対は **30**本

三重県議会 日本共産党

なんでも**反対**ではありません!

(2021年1月～12月) 請願 意見書 **38**本のうち

反対は **1**本

※ 反対の場合は必ず討論で理由を述べています

新型コロナ対策補正予算

知事・副知事・議員のボーナス削減 など、

87%には賛成しています

詳しくは
県議会HPで確認できます



知事提案に全く「異議なし」で、チェック機能が果たされると言えるのでしょうか。なんでも賛成する議会ほど恐ろしいものはないでしょう。なんでも賛成こそ問題です。

県民にはいろいろな考えがあります。県民の声を届けるのが議員の役目です。日本共産党は ①住民が望んでいないムダ遣いがないかどうか ②住民への負担増にならないかどうか など、みなさんから届く声も聴きながら、賛否を決めています。

「茶柱たつ婆」と一緒に、伊勢茶の宣伝
議会ロビーに水沢茶畑巨大写真出現でパチリ



山本いかが議員の毎日は
FBでご覧ください



<https://www.facebook.com/rika.yamamoto.3382>



県議団 ホームページ
議会活動はこちら



<http://kengidan.jcp-mie.jp/>

「生理の貧困」問題 その後

6月議会の一般質問で取り上げた結果、7月から県立高校トイレに生理用ナプキンが配備されました。2か月の試行期間を経て継続中。 やったね (^_^)☆

県内・全国で取り組みが広がっています。